

大磯高等学校 令和6年度入学式 校長式辞

長い足踏みを続けている春が、今日はしっかりと美しく見頃の桜の花を連れてきてくれました。

本日ここに令和六年度入学式を挙げるにあたり、新入生のみなさん、そして保護者のみなさまに、神奈川県立大磯高等学校を代表いたしまして、心よりご入学のお祝いを申し上げます。

また、ご来賓のみなさま、そして、多くの保護者のみなさまのご列席を賜りましたこと、誠に喜ばしく、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

改めまして、279名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。ようこそ大磯高校へ。心より歓迎いたします。みなさんは、第77期生、大磯高校は創立して97年になります。3年後の令和9年に100年という節目を迎える大磯高校は、海と山に囲まれた豊かな自然環境のもと、長きにわたり、自主自律の精神のもと、豊かな知性を育ててきました。先輩たちは、この伝統ある大磯高校の校舎で、高い目標を持ち、落ち着きのある充実した学校生活を送っています。磯高生の気風は、素直で優しく、思いやりに満ち、真面目だけれど楽しむ時は思い切り楽しむ。けじめも大切にする。そんなどこにも負けないすばらしい生徒集団です。

百年を目前に控え、大磯高校はみなさんの代から制服を刷新いたしました。みなさんは記念すべき大磯高校77期生であり、誇りをもって大磯高校の新しい看板となった制服を美しく着こなし、磯高ブランドを引き継いでいってください。

そして、先輩たちが長きにわたって積み重ねてきた努力を受け継ぎ、新しい時代をしなやかに生き抜く、国際社会・地域社会のリーダーとして将来活躍できるよう、しっかり学んでください。夢中になれる好きなことも見つけてください。部活動にもぜひ入部してください。自分の好きなことや仲間・先輩たちとのコミュニケーションを通じて新しい価値観に触れ、多様な生き方を学ぶ3年間を送ってください。

さて、みなさんは高校という場所をどのように認識しているでしょうか。

高校とは知的訓練の場です。知的訓練の場とは、勉強する場です。教科の学習、HR活動、清掃活動、部活動、生徒会活動、学校行事、その他学校におけるあらゆる教育活動に取り組む場所です。様々な活動を通して、自分の長所や個性を発見して伸ばしていく場所が高校です。可能性の芽が出る時期は人それぞれで、早い人も遅い人もいるでしょう。でも、その可能性に挑戦し続ける努力が大切なのです。理解しようと努力すること、地道な取り組みをあきらめずに続けること、つらいときでも前向きに捉えることが大切なのです。

どうか苦手教科・科目をあきらめないでください。あきらめるということは、自ら限界を設定してしまうことであり、未来への選択肢が大幅に縮小されてしまうということなのです。努力あるのみです。がまんが努力の第一歩です。

そして、一人ひとりが高い目標に向かって挑戦する道を選んでください。目標が高ければ高いほど、その頂を目指す心構え、意識が違ってきます。できるだけ早いうちに目標を立て、自らの限界を作らずにさまざまなことに挑戦し、多くを学び、自分の可能性を広げ、あなたにとって満足のいく成果を手に入れてください。

中学校生活の多くの時間をコロナ禍のもとで過ごすという厳しい体験をし、苦しい受験を見事に突破してきたあなた方ならきっとできます。みなさん一人ひとりのポジティブなチャレンジを、私たち教職員一同は全力で応援し、サポートします。

大磯高校はグローバル教育研究推進の指定校として3年目を迎えました。探究活動や国際交流に積極的にチャレンジできる環境が大磯高校にはあります。せっかくそんな高校に入学したのですから、恵まれた環境を大いに活用してください。

課題を探究して解決するために仲間とともに知恵を出し合い行動し、自分の言葉で意見や考えを発信し、コミュニケーション力・プレゼンテーション力、そして英語力を高めてください。講演会や研修もたくさん用意されています。留学生との交流などを通して世界を知り、自分を磨いていきましょう。この七月にはオーストラリア研修も予定されています。たいへん充実した内容の研修で、参加した人が得られるものは大きいことを保障します。なかなかないチャンスですので、ぜひ積極的に参加してください。

世界を見渡せば、終わらない戦争、頻発する地震、災害からの復興、不況や人口減少、子どもの人権、ジェンダー平等など、広範囲にわたって解決しなければいけない問題が山積しています。ものすごいスピードで変化していく世の中は、将来が見えにくい、不確定な世の中でもあることに気づかされます。みなさんが未来を生き抜くためには、視野を広く持って、様々な方向から、いろいろな立場から考え、検討していく必要があるでしょう。授業はもちろん、本を読んだり、人の話を聞いたり、多くの人とかかわる中で、今の自分に何ができるか、課題をどう解決していくのか考えていくことで、みなさんの未来の扉は開かれるのだと思うのです。

グローバルな視野と探究心を自分の中に育てて、仲間とともに幸せな未来へと駆け上がる、今日がその第一歩です。

最後に、いうまでもなく、教育は学校だけで行うものではなく、家庭や地域との連携が非常に重要だと考えております。保護者のみなさまと力を合わせ、晴れて磯高生となったお子様の夢を実現するため、私たちは精一杯教育活動に取り組んでまいりたいと存じますので、どうぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

279名の新入生のみなさん、今、あなた方が抱いている初心の気持ちを忘れることなく、健康で笑顔にあふれた高校生活を仲間とともに送りましょう。自らを高め、有意義な3年間を過ごして大きな成長を遂げることを心より願い、入学式の式辞といたします。本日は誠にありがとうございます。

令和6年4月5日 校長 立花 ますみ